

(2)有形固定資産の割賦購入

(152回1問改)X年4月1日、商品陳列棚を分割払いで購入し、代金として毎月末に支払期日が順次到来する額面¥150,000の約束手形10枚を振り出して交付した。なお、商品陳列棚の現金購入価額は¥1,440,000である。利息相当額は資産勘定で処理する。

・上記陳列棚の一回目の支払期日を迎え、現金150,000円を支払った。

(2)有形固定資産の売却

・当期の1月31日に備品(取得原価5,000円、前期末の減価償却累計額3,600円)を2,000円で売却し、代金は現金で受領した。減価償却は定額法、記帳方法は間接法で行っている。(残存価額は取得原価の10%、耐用年数は5年)

(151回1問)平成26年4月1日に¥600,000で取得した備品(耐用年数10年)を、平成30年12月31日に¥119,000で売却し、代金は相手先振出の約束手形を受け取った。当社の決算日は3月末日であり、減価償却は200%定率法、記帳を間接法によっている。売却した年度の減価償却費は月割計算で算定すること。

【解答】

(2)有形固定資産の割賦購入

(152 回 1 問改)X 年 4 月 1 日、商品陳列棚を分割払いで購入し、代金として毎月末に支払期日が順次到来する額面¥150,000 の約束手形 10 枚を振り出して交付した。なお、商品陳列棚の現金購入価額は¥1,440,000 である。利息相当額は資産勘定で処理する。

備品 1,440,000 / 営業外支払手形 1,500,000
前払費用 60,000

・上記陳列棚の一回目の支払期日を迎え、現金 150,000 円を支払った。

営業外支払手形 150,000 / 現金 150,000
支払利息 6,000 前払費用 6,000

(3)有形固定資産の売却

・当期の 1 月 31 日に備品(取得原価 5,000 円、前期末の減価償却累計額 3,600 円)を 2,000 円で売却し、代金は現金で受領した。減価償却は定額法、記帳方法は間接法で行っている。(残存価額は取得原価の 10%、耐用年数は 5 年)

減価償却累計額 3,600 / 備品 5,000
減価償却費 750 固定資産売却益 1,350
現金 2,000

(151 回 1 問)平成 26 年 4 月 1 日に¥600,000 で取得した備品(耐用年数 10 年)を、平成 30 年 12 月 31 日に¥119,000 で売却し、代金は相手先振出の約束手形を受け取った。当社の決算日は 3 月末日であり、減価償却は 200%定率法、記帳を間接法によっている。売却した年度の減価償却費は月割計算で算定すること。

営業外受取手形 119,000 / 備品 600,000
減価償却累計額 354,240
減価償却費 36,864
固定資産売却損 89,896